

# 検診情報

## 乳がん検診

日本人女性の乳がん発症率は年々上昇してきています。特に40～50歳代の女性に多く見られ、40歳代については、この20年間で倍増しています。

乳がんを早期に発見し早期に治療に結びつけるためには、毎月1回の自己検診は欠かせません。また、マンモグラフィー検診もすることが大切です。

### 実施日

平成22年5月24日～11月29日の期間のうち、月・水・金・土です(8月は除きます)。

検診場所 都留市立病院

受付時間 受付時間は、曜日によって異なります。

月曜日 午後3時45分～4時15分

水・金曜日 午後0時30分～1時00分

土曜日 午前11時15分～11時30分

対象者 30歳以上の市内在住の女性

(妊娠中・授乳中の方は除く。)

### 申込方法

健康推進課へ電話にてお申し込みください。

※先着順となるため定員になり次第申し込みを終了します。お早めにお申し込みください。

6月15日～29日・10月14日～23日にいきいきプラザ都留で実施する特定健診期間中に、健康推進課窓口でも申し込みができます。なお、特定健診期間中の電話申し込みは午後2時からとなりますのでご承知ください。(土・日は除く)

年齢	検診内容	自己負担金
40～49歳	問診・視診・触診	1,800円
	マンモグラフィー検診 (乳房X線撮影検査二方向撮影)	
70歳以上	問診・視診・触診	850円
その他の年齢の方	マンモグラフィー検診 (乳房X線撮影検査一方向撮影)	1,700円

上記の年齢は、平成23年3月31日までに達する年齢です。

### ※マンモグラフィー検診

乳房を片方ずつ、乳房専用のレントゲンで撮影する検査です。手に触れない小さいしこりまで発見することができます。

○マンモグラフィー検診は圧迫の際に軽い痛みを伴うことがありますので、乳房の張りの少ない生理後に受けると良いでしょう。

○妊娠の可能性のある方は、マンモグラフィー検診を受けることができません。

○40歳代以外の方の二方向撮影は受けられません。

## 子宮がん検診

子宮頸部がんは、性交渉で感染するヒトパピローマウイルス(HPV)が原因となるため、性活動が活発な若い年齢層の感染増加に伴い、発生率が上昇していると考えられています。子宮頸部がんは、早期に発見することでほぼ治るといわれています。検診をぜひ受けましょう。

### 子宮頸部がん検診の受け方

希望する指定医療機関に直接お申し込みください。

### 対象者

市内在住の20歳以上の女性。(妊娠中は除く)

※下記の「子宮がん検診指定医療機関」には都留市の子宮がん検診受診票が用意してありますので、必要事項を記入して受診してください。また、下記の医療機関以外で受診を希望される方は、お問い合わせください。

### 注意事項

受診票は、年度(4月～3月)につき1回のみのご使用となります。

保険証を持って検診を受けてください。

生理時、性交の翌日、膣洗浄の翌日は避けてください。

検診料は、直接、受診した医療機関の窓口を支払ってください。

### 結果の連絡

健康推進課から検診月の翌月末に結果を通知します。

病気が見つかった場合には、医療機関から直接連絡があります。

### 子宮がん検診指定医療機関

- 磯部医院
- 都留市立病院
- 渡辺医院
- 加賀谷医院
- 羽田レディースクリニック
- 鈴木医院
- いしだ女性クリニック
- 深澤医院
- 堀内産婦人科医院
- 武者医院
- 大月市立中央病院

年齢	受診料
20歳～69歳	子宮頸部がん検診のみ：2,100円
	子宮体部がん検診含む：3,200円
70歳以上	子宮頸部がん検診のみ：1,050円
	子宮体部がん検診含む：1,600円

上記の年齢は、平成23年3月31日までに達する年齢です。

検診についての申込、問合せ先は・・・

いきいきプラザ都留内

健康推進課 保健・予防担当

☎46-5113 内線127